

「もっと大きくしよう!」



翌朝、池 2 号に水がほんのわずか残っていたことに喜んだ子どもたち。「セメントがよかったんや!」「深くしたしやな」など、水が残っていた理由をそれぞれの話していました。「でもこんだけの水じゃ、虫はこへんで」「じゃあさ、もっと大きくしていっぱい水入れよう」と拡大計画が出てきました。

掘り進めていると、大きな根っこが出てきて「なんやこれ!やきいも出てきた!」「やきいもちゃう!さつまいも!」「まだまだひよろひよろやな」と、友達と予想をしていました。

体がひっくり返るほど一生懸命にひっぱり、なんとか根が抜けると、水を一度にたくさん流せるように、B 児が雨樋を運んできました。「これならいっぱい流せるで!」「いいやん!」高低差がないと水が流れないことを経験で知っていた子どもたちはすぐにちょうどいい台を見つけ、流し始めました。果たしてたくさん水がためられるのでしょうか?

